

令和元年度

学校自己評価表（報告）

学校運営計画		
学校運営方針	<input type="radio"/> 地域の児童生徒及び保護者から「進学したい学校」、「進学させたい学校」として信頼される学校 <input type="radio"/> 知・徳・体の調和のとれた魅力ある人間を育てる学校 <input type="radio"/> 教職員が充実感を持って勤務し、自らの力量を向上させる学校	
昨年度の成果(●)と課題(□)	年度の重点目標	具体的目標
<b>【昨年度の成果】</b> <b>確かな学力の定着とキャリア教育の推進について</b> <input type="radio"/> 高等学校の進路実績 ・ 国公立4年制大学に1名の合格者を輩出した。入学後早期から繰り返し実施した意識啓発の取組、また進路希望に応える特別編成授業などが功を奏した。 ・ 就職は、就職を希望した生徒全員が内定を得た。うち1名は公務員である。一人一人に担当職員を決め、応募用紙の作成や面接指導等の繰り返しにより、着実に力を付けた。	<input type="radio"/> 確かな学力の定着とキャリア教育の推進 (中学) 学力向上とキャリア教育の推進 (高校)	・ キャリア教育の推進と進路実現に対する目的意識の高揚 ・ 習熟度別授業の推進 ・ 家庭学習習慣の確立
	<input type="radio"/> わかる授業の実践ときめ細かな指導 (中学) 質の高い授業の実践と個々のニーズに応じた指導 (高校)	・ 授業アンケート等を基にした授業改善 ・ 習熟度別授業の拡充
	<input type="radio"/> 生徒の規則正しい生活習慣の確立 (中学) 豊かな人間性と社会性の涵養 (高校)	・ 基本的な生活習慣の確立 ・ 学習合宿や宿泊研修による体験活動の推進 ・ 学習・部活・教育相談の充実
	<input type="radio"/> 地域や関係機関と連携した体験活動の充実 (中学・高校)	・ 地域や関係機関と協力した体験活動の実施 ・ 活動の振り返りと成果の蓄積
<input type="radio"/> 中学校の学力実態 ・ 全国学力・学習状況調査では、国語、数学とも全国、全県と比較し低い状態である。しかし、標準を大きく上回る授業時数や年23回実施の全校漢字テストなどの取組によって、全国標準学力検査において学年、教科によっては昨年度を大きく上回ったものもあり基礎学力が定着しつつある。		
<input type="radio"/> キャリア教育について ・ 中学校・高等学校では職場体験学習やインターンシップを核としたキャリア教育を計画的に推進し、進路にかかる目的意識を醸成した。		
<input type="checkbox"/> 生徒一人一人の家庭学習習慣の確立 <input type="checkbox"/> 教職員一人一人の授業改善、生徒一人一人に寄り添った丁寧できめ細かな学習指導の充実		
<b>豊かな人間性と社会性の涵養、地域と連携した体験活動の充実について</b> ・ 「生きるIV」を使った同和教育や人権講演会等の人権教育・同和教育に全校体制で取組、互いの人権を大切にすることを意識することができた。		

- ・反社会的な行動による継続指導の事例なし
- ・地域で行う体験活動や中高連携の学校行事、部活動等により社会性、豊かな心を伸長
- 人権教育の充実と、生徒の心の問題の把握、いじめや不登校の早期発見、的確・迅速・丁寧な対応
- 体験活動での学習成果を日々の生活に反映

### 保護者・地域から信頼される学校づくり

- ・近隣市（区）町村のすべての小学校・中学校を訪問し特色ある教育を情報発信
- ・保護者アンケート（87%の回収率）で80%以上の肯定的評価8／9項目
- 教育活動の成果を上げ、学校の特色や魅力を広く発信して募集定員を確保すること
- 地域との連携を深め、地域に根ざした学校づくりを推進すること

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
確かな学力の定着とキャリア教育の推進 (中学) 学力向上とキャリア教育の推進 (高校)	・キャリア教育の推進と進路実現に向けた目的意識の高揚	・進路講演会を各学年ごとに年2回実施し、将来の進路についての関心を高め、また必要な知識を身に付けさせる。	A	A	A
		・進路ガイダンスやLHR（学活）を利用し生徒の進路意識を啓発する。	A		
		・図書館情報を発信し、魅力的な本や新着図書を紹介に努める。	A		
	・進路実現の支援	・職員が共通の指導方針の下、互いに連携し組織的に生徒を指導、育成する。また、頻繁に面談を行うことできめ細かな指導を行う。	A	A	
		・学習不振者に、放課後の特別補習等の指導を行う。大学進学希望者に、学習量と学習の室をしっかりと把握し適切に指導する。	A		
	・家庭学習習慣の確立	・自学ノート・生活ノートの点検と呼びかけを通して、家庭学習時間の増加を目指す（中）	B	B	
・手帳の学習記録欄を活用し、家庭学習状況の把握に努め、学習時間の各学年、コースの目標達成を目指す。（高）		B			
わかる授業の実践 かな指導 (中学) 質の高い授業の実践と個々のニーズに応じた指導(高校)	・授業改善の推進 ・指導方法の工夫改善	・諸テストの結果を分析して授業改善の方途を明確にし、それを生かした指導を行う。	B	B	A
		・数学・英語で少人数に分けたクラス編成やティームティーチングで授業を実施する。（中）	A		
		・習熟度に応じて少人数集団に分けたクラス編成で授業実施する。（高）	A		
生徒の規則正しい生活習慣の確立 (中学)	・基本的生活習慣の確立	・あいさつ、返事がしっかりできる。時間や提出物の厳守。身だしなみを整える等、適宜指導する。	A	A	
		・生徒に対し個に応じた様々な支援をすることにより、達成感と自己有用感を獲得させる。	B		
		・交通違反及び交通事故0宣言を行い、交通講話や実技講習会を通	A		

豊かな人間性と社会(高校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの撲滅</li> </ul>	<p>して、安全への意識を高め交通ルールを遵守できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階に応じた内容で、学級ごと人権教育、同和教育の授業を実施する。</li> <li>道徳、LHR(学活)、総合の時間を通して人権教育、仲間づくり、集団づくりを図り、生徒の学級(学校)満足度向上を目指す。</li> </ul>	A	A	A	
地域や関係機関と連携した体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や関連機関と協力した体験活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学習の福祉体験や事前学習を通して、社会に対して目を向けさせ、自己の適性や進路について考えさせる。</li> </ul>	A	A	A	
成果	<p><b>【確かな学力の定着とキャリア教育の推進について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校の進路実績について <ul style="list-style-type: none"> <li>国公立4年制大学に合格者1名を輩出した。入学後早期から意識啓発、進路希望に応える特別編成授業の実施、町の公設塾と連携した進路指導やキャリア教育の実施などが成果につながっている。</li> <li>就職は、就職を希望した生徒全員が内定を得た。一人一人に担当職員を決め、応募用紙の作成や面接練習等を繰り返し粘り強く指導したことにより、着実に力を付けた。</li> </ul> </li> <li>中学校の学力実態について <ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力・学習状況調査では、国語、数学ともA問題は全国平均、全県平均を大きく上回り、B問題は全国比並みであった。標準を大きく上回る授業時数や年21回実施の全校漢字テストなどの取組による成果である。</li> </ul> </li> <li>キャリア教育について <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校・高等学校で職場体験学習やインターンシップを核にしたキャリア教育を計画的に推進し、進路にかかる目的意識を醸成した。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【豊かな人間性と社会性の涵養、地域と連携した体験活動の充実について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「生きるIV・V」を使った同和教育や人権講演会等の人権教育、同和教育に全校体制で取り組み、互いの人権を大切にする意識を涵養することができた。</li> <li>反社会的な行動で、継続指導を要した事例はない。</li> <li>中学校・高等学校生徒会が連携して行う体育祭や文化祭(黎明祭)等の学校行事、部活動、地域清掃活動、また、異年齢編成で行う中学校全校登山、福祉体験など、多様な体験活動を通して豊かな心と社会性を伸長した。</li> </ul>			総合評価		
			A			

学番	21	県立阿賀黎明高等学校
----	----	------------

令和元年度

学校関係者評価（報告）

## 学校関係者からの評価・意見等※

## ○自己評価の結果の内容が適切かどうか

- ・ 適切である。（結果の内容の適切さに係る意見や指摘等はなし。）
- ・ 肯定的な回答が多く、素晴らしい。

## ○自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか

- ・ 生徒に育成すべき資質・能力を明確にし、新たな取組が必要である。
- ・ 高校の職員と町立中学校の職員が一緒に行う研修を充実させたい。
- ・ 中高連携の意義を周知しながら、取組内容を修正・改善し、推進していく必要がある。

## ○学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか

- ・ 記名式の保護者アンケートを行うことで、適切に意見を聞くことができ、その対応を考えることができた。

## ○学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

- ・ 学力向上推進委員が中心となって公開授業旬間を設定し、町立中学校の職員も参観するなど連携した取組ができた。
- ・ 特編授業を組み、自習時間を減らすことができた。
- ・ 各分掌や各学年との連絡・調整がスムーズにできた。
- ・ 高校の存続に向け、これまで以上に町と学校、住民の連携した取組にしていく必要がある。

※「自己評価の結果の内容が適切かどうか」

「自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか。」

「学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか。」

「学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか」などを評価する。

学番	21	県立阿賀黎明高等学校
----	----	------------

令和元年度

学校自己評価表（報告）

学校運営実施報告	
重点目標	学校関係者評価を踏まえた次年度の主な課題と改善策
確かな学力の定着とキャリア教育の推進（中） 学力向上とキャリア教育の推進（高）	<b>【主な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より一層の基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力の育成</li> </ul> <b>【改善策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導部が中心となって生徒の読解力を高めるために週1回、朝学習の時間に対策を行い、年5回自作問題で検定を行い、定着度を計る。</li> <li>・家庭や町立中学、阿賀町、公設塾等と連携し、家庭学習の習慣化を図る。</li> </ul>
わかる授業の実践ときめ細かな指導（中） 質の高い授業の実践と個々のニーズに応じた指導（高）	<b>【主な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員一人一人の授業改善，生徒一人一人に寄り添った丁寧できめ細かな学習指導の充実。</li> </ul> <b>【改善策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいを明示し、次時への意欲につながる振り返りを行う。</li> <li>・発展的な課題、基礎的な課題を複数準備するなど、個々のニーズに応える授業を行う。</li> <li>・諸テストの結果や授業アンケートを各教科で分析して授業改善の方途を明確にし、それらを活かした授業を行う。</li> <li>・授業改善に関するレポートを全教職員が作成して成果を共有する。</li> <li>・授業参観を積極的に行い、協議会に参加し授業改善策を明確にする。</li> </ul>
生徒の規則正しい生活習慣の確立（中） 豊かな人間性と社会性の涵養（高）	<b>【主な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の心の問題の把握，いじめや不登校の早期発見，的確・迅速・丁寧な対応。</li> <li>・交通安全の徹底，特に高校生のバイク事故ゼロの継続。</li> </ul> <b>【改善策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育，同和教育の計画的に実施し、体験活動を充実させる。</li> <li>・学年・学級やいじめ対策推進教員を中心に絆づくりを進めるとともに、生活アンケート（いじめを含む）を継続的に実施し、実態把握、即時対応を確実にを行う。</li> <li>・交通違反及び交通事故0宣言を行い，交通講話や実技講習会を通して安全への意識を高める。</li> </ul>
地域や関係機関と連携した体験活動の充実（中・高）	<b>【主な課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動での学習成果の日常生活への反映。</li> </ul> <b>【改善策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携推進教員のリードのもと、体験活動での振り返りを確実にを行い，生徒の達成感、自己有用感を醸成する。</li> </ul>